

U.S. Indicators

米国 米製造業部門は一段と力強く（18年2月 I S M製造業景気指数）

公表日：2018年3月2日（金）

～受注・生産の高水準での推移は好調持続を示す～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
17/02	57.6	63.8	61.7	54.5	52.3	55.5	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	56.6	62.0	57.3	58.7	49.3	55.6	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	55.3	57.1	58.9	53.0	51.6	55.9	57.0	68.5	59.5	55.5
17/05	55.5	60.0	57.5	53.3	52.1	54.4	55.0	60.5	57.5	53.5
17/06	56.7	61.3	60.9	56.3	49.0	55.7	57.0	55.0	59.5	54.0
17/07	56.5	61.0	60.4	55.8	49.2	56.0	55.0	62.0	57.5	56.0
17/08	59.3	61.8	62.0	59.8	55.7	57.4	57.5	62.0	55.5	54.5
17/09	60.2	64.4	61.9	58.7	52.6	63.4	58.0	71.5	57.0	54.0
17/10	58.5	63.5	61.0	59.8	48.1	60.1	55.0	68.5	56.5	54.0
17/11	58.2	63.9	64.3	59.2	47.1	56.6	55.0	65.5	56.0	54.5
17/12	59.3	67.4	65.2	58.1	48.5	57.2	56.0	69.0	58.5	57.5
18/01	59.1	65.4	64.5	54.2	52.3	59.1	56.2	72.7	59.8	58.4
18/02	60.8	64.2	62.0	59.7	56.7	61.1	59.8	74.2	62.8	60.5

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

製造業景気指数は 60.8 と前月比 1.7%ポイント 上昇し高水準

18年2月のI S M製造業景気指数（季節調整値）は、60.8と市場予想の58.6への低下に反し、前月比1.7%ポイント上昇、04年5月の61.4以来の高い水準となり、製造業部門の好調持続を示した（筆者予想59.3への上昇）。

ドルが実効レートで高い水準にとどまっている影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加（ボトムからの水準切り上げ）、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業部門の活動は活発化している。

総合指数を構成する項目では、新規受注や生産が低下したものの、雇用、入荷遅延、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、生産（前月比▲0.50%p）、新規受注（前月比▲0.24%p）が押し下げ寄与となった一方、雇用（前月比＋1.10%p）、在庫（前月比＋0.88%p）、入荷遅延（前月比＋0.40%p）が押し上げ寄与となった。重要な項目である新規受注や生産が低下したものの、内外需の堅調さを映じて高い水準で推移しており、製造業部門が良好な状態を当面維持することを示唆している。

一方、インフレ面では、新規受注や生産の拡大、悪天候などを背景とした入荷遅延の強まりや商品市況の上昇によって仕入価格は高い水準を維持しており、川上でのインフレ圧力が一段と強まっている。

全 18 業種中 15 業種が 拡大した

総合（全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）で拡大した業種は、印刷・関連サポート活動、一次金属、一般機械、コンピューター・電子機器、石油・石炭、非鉄、プラスチック・ゴム、加工金属、化学製品、輸送機器、繊維、その他製造業、紙製品、電気設備・部品、食品・飲料・タバコの15業種と前月の14業種から増

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

加し、多くの業種で拡大しており、製造業は広がりを持った拡大となっている。縮小した業種数は、アパレル、家具・同関連の2業種（前月4業種）となった。木材製品は変わらずとなった。

コンタクト先からの報告は、良好な経営環境と人手不足を指摘する内容

コンタクト先からの報告は、2月も前向き内容が目立った一方で、一部業種で人手不足が指摘され続けている。

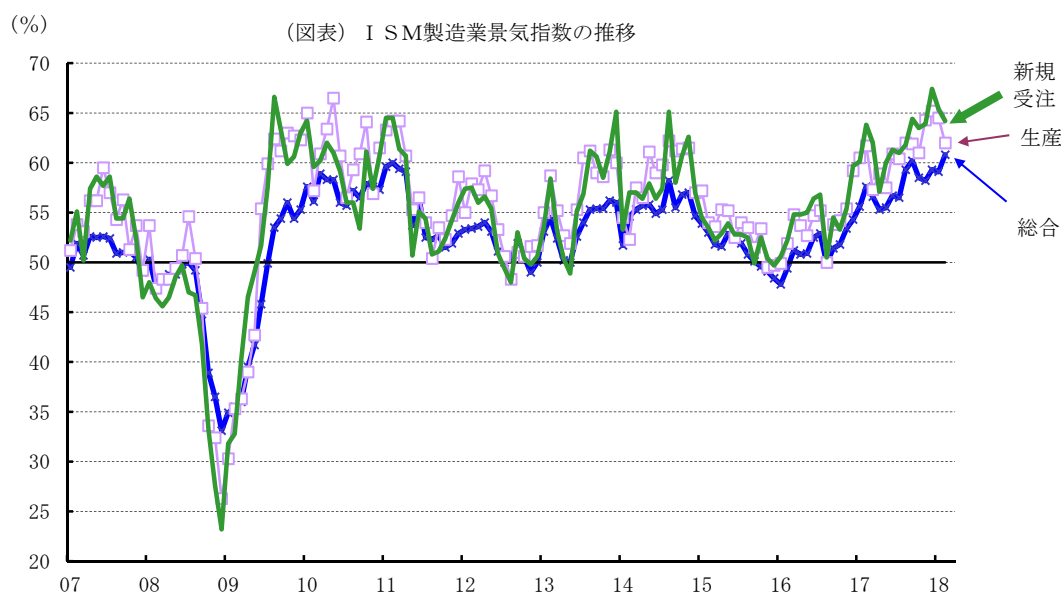
化学製品では、我々の事業はQ4に増加し、それは18年1月も続き、設備投資の購入は世界的に拡大していると指摘されたほか、輸送機器では、南カリフォルニア地域でサプライチェーンでの人材不足が続いているが、経済全体が堅調と報告された。また、食品・飲料・タバコでは、雇用が最大の課題、採用可能な労働者がいないと指摘された。加工金属では、鉄鋼市場がかなり良くなっていると報告された。

一般機械では、事業での税控除の違いをもたらしているが、顧客は設備投資により支出していると指摘された。さらに、石油・石炭製品では、直接雇用の従業員が増加したほか、17年末の業績とコモディティ価格の改善により、予算は増加したと指摘された。

プラスチック・ゴム製品では、事業は非常に強く、ラインがフル稼働していると報告された。その他製造業では、18年は需要が強くなると予想し、その予想により営業スタッフを拡充し、生産スタッフの増加を計画していると指摘された。電気設備・部品では、人民元に対する米ドル安は、輸入コストに影響を与え始めており、サプライヤーの価格がさらに上昇し始めていると報告された。

製造業景気指数は当面高水準を維持する公算

今後もドル高や中国経済の減速など需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気の堅調さが持続するとみられる。また、海外需要は堅調さを維持する公算が大きい。以上より、ISM製造業景気指数は、当面高い水準を維持すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。